

地方創生時代の看護系大学のチャレンジ

— 看護学の変革と課題 —



日時：平成29年12月17日（日）16:30～18:00

場所：仙台国際センター 第3会場（会議棟2階 萩）

地方創生が叫ばれて久しくなりましたが、保健・医療・福祉の課題は山積しています。これらの課題に、看護学の視点から、どのように向き合うことが必要なのでしょうか。従来の枠組みや考え方だけにとらわれず、新たな変革の視点が求められています。

そこで今回は、看護・介護・教育等の地域創生の取り組みの実際やモデル事業などの情報を共有し、これからの時代、地方の大学から発信する実践・教育・研究について、共に考える機会にしたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしております。

プログラム：

■挨拶：片田範子（日本看護系学会協議会会長・日本学術会議第二部会員・関西医科大学看護学部設置準備室教授）

■問題提起：南 裕子（日本学術会議連携会員・高知県立大学 特任教授）

■シンポジスト：

1. 基金を活用した高知県立大学の取り組み

森下安子（高知県立大学大学院 教授）

2. 助産師卒後教育と宮城の助産師出向事業の体制作り

佐藤喜根子（東北大学大学院 名誉教授・宮城県看護協会助産師出向コーディネーター）

3. 看護師と医療保険者の役割機能拡大による新たな慢性疾患ケア提供モデルの構築

森山美知子（広島大学大学院 教授）

4. 看護とものづくり — 大分県立看護科学大学における産学連携推進の取り組み

村嶋幸代（大分県立看護科学大学 学長・東京大学名誉教授）

■座長：吉沢豊予子（日本学術会議連携会員・東北大学大学院 教授）

綿貫成明（国立看護大学校 教授）

主催：一般社団法人 日本看護系学会協議会、日本学術会議 健康・生活科学委員会 看護学分科会

後援：公益社団法人 日本看護科学学会、第37回 日本看護科学学会学術集会

参加費無料・申し込み不要です。

